

「令和3年度当初予算の編成について」ポイント

基本方針

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に万全を期すとともに、喫緊の課題である地域経済の回復について、「経済を回す」仕組みづくりを目指す青森県基本計画の推進と軌を一にして総力を挙げて取り組む。
- 「令和3年度「取組の重点化」の基本方針」において、特に重点的に取り組む事項として設定された5つの戦略プロジェクトに基づき、「取組の重点化」を徹底し、様々な主体と連携・協力を図ることで事業効果が最大限発現できるよう取組を進める。

【戦略プロジェクト】

1. 「選ばれる青森」食と観光成長プロジェクト
2. 多様なしごと創出プロジェクト
3. 「住みたいあおもり」若者・女性プロジェクト
4. 未来へつなぐ「地域のゆりかご」プロジェクト
5. 健康ライフ実現プロジェクト

※基本計画に掲げる4分野を横断して特に重点的に取り組むもの

- 同時に、財政規律を堅持し、持続可能な財政基盤の確立に向けて取り組む。
⇒ 別添（3頁）参照

※ ただし、新型コロナウイルス感染症に係る状況変化や国の対策等に応じて、見直し等があり得るもの。

令和3年度見積目安額の設定

～基本計画及び総合戦略に基づく各種施策の展開と「取組の重点化」～

(1) 基本計画重点枠事業費

- 特別な予算要求枠として確保するほか、見積目安額設定による削減額を上限として要求枠に加算。
- 【総額30億円（県負担ベース、新規分+継続分）+ α （見積目安額設定による削減額）】

(2) 部局政策経費

- 各部局による主体的な事業の見直しを図るとともに、予算編成作業の効率化と政策的議論へ注力する観点から部局政策経費を再編のうえ、マイナスシーリングを継続。

【令和2年度当初】	削減率	【令和3年度当初】	削減率
○一般政策経費（A経費） （準義務的・固定的な運営経費等）	△1.0%	○政策的経費 （政策的検討を要する経費）	△1.0%
○一般政策経費（B経費） （弾力性のある経費）	△3.0%	○経常的経費 （固定的な管理運営等経費）	±0.0%
○一般政策経費（C経費） （公の施設の指定管理委託料等）	±0.0%		
○経常経費 （固定的な管理経費等）	△1.0%		

○貸付金	±0.0%	○貸付金	±0.0%

(3) 公共事業関係費

- 地方負担（県債＋一般財源）ベースで前年度当初比±0%の見積目安額を設定。
- 震災復興関連事業及び「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」については令和2年度で終了となる見込みであることから、国における検討状況を踏まえ別途対応。
※災害公共事業費は所要額で要求。

(4) 施設等整備費

- 公用・公共施設等の老朽化対策等を着実に実施していくため、公共施設等適正管理推進事業債を積極的に活用しつつ、所要の見積目安額を設定。

(5) 緊急課題・行財政改革対応経費

- これまでの緊急的な課題や行財政改革への対応に加えて、新型コロナウイルス感染症に対応するための取組について別枠（10億円）を確保。

(6) メリットシステム経費

- 令和2年度と同様に、予算要求時における自主的・主体的な経費見直し努力として、要求見積期限までに提示された額及び内容を踏まえ、各部局に要求可能額を配分。
○配分枠として1億円確保。見直し額と同額の上乗せ配分を基本。

予算要求見積期限 令和2年11月16日（月）

持続可能な財政基盤の確立に向けて（令和3年度当初予算編成）

1 財政を取り巻く環境 ～厳しい歳入環境～

- 新型コロナウイルス感染症による地域経済への影響の長期化により、令和3年度における県税収入の動向は厳しい状況になることが懸念される。
- 都市部を含めた全国的な財源不足額の拡大が見込まれる中、本県における臨時財政対策債を含めた地方交付税総額が十分に確保されるか不透明な状況。
- また、地方の財源不足額の拡大と地方交付税の原資となる国税の減収により、臨時財政対策債は大幅増加。

2 本県財政の状況 ～これまでの成果と課題～

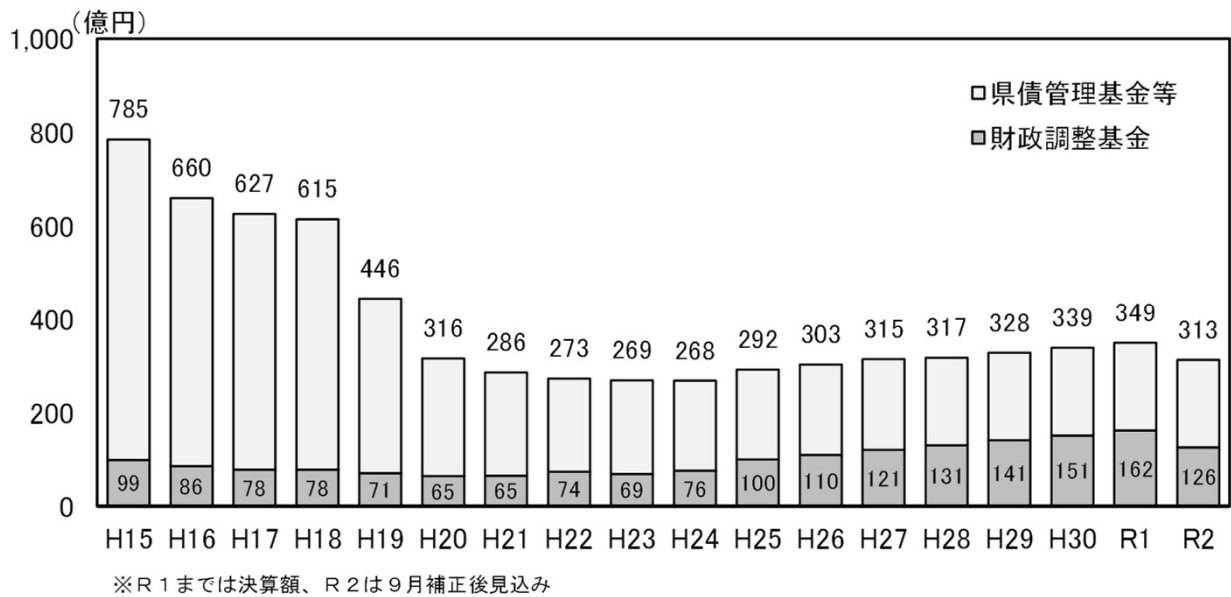
- これまでの行財政改革努力の成果発現により、財政調整用基金の取崩額（財源不足額）をゼロとする「収支均衡」を4年連続で実現するとともに、県債残高の圧縮、実質公債費比率や将来負担比率等の財政健全化指標の改善などに一定の成果。
- その一方で、財政改革プラン策定時の半分以下であった財政調整用基金の残高は、新型コロナウイルス感染症に対応するための取崩しにより目減りしているほか、県債残高は依然として予算規模を大きく上回るなど、財政構造改革は課題が残る状況。
- また、厳しい歳入環境にあっても、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいく必要があるとともに、青森県基本計画等に基づく各種施策や、増加が見込まれる社会保障関係費、公用・公共施設等の老朽化対策費、第80回国民スポーツ大会開催に向けた準備など県政の重要施策について停滞させることなく推し進めていくことが必要。

3 令和3年度当初予算編成における取組 ～財政規律の堅持～

- 新型コロナウイルス感染症対策等喫緊の課題に適切に対応しながら、収支均衡（財政調整用基金の取崩額ゼロ）の継続を図る。
- 公用・公共施設の老朽化対策等に適切に対応しながら、県債残高の縮減を図る。

【参考】本県の財政状況

①財政調整用基金残高の推移



②県債残高の推移

